

1 はじめに

今年度は昨年度の150周年記念式典で行った「坂本宣言」をもとに、坂本小をよりよくしていくための活動を数多く行ってきた。昨年度までの取組にさらに他校の実践事例を取り入れた結果、活気ある特別活動となった。

2 資料

(1) 1年生を迎える会

坂本小に入学した新1年生を学校全体で迎えた。集会が始まる前に、6年生が手作りしたメダルを1年生は首から下げ、一緒に入場した。4月の歌である「さんぽ」を全校児童で歌いながら踊ったり、学校に関するクイズを行ったりするなど、大いに盛り上がった。



(2) 坂本パワーアップ集会

「よりよい坂本小にしていこう」という趣旨のもと、坂本小学校として大切にしたいこと（あいさつ・そうじ・なかよく）について坂本委員による寸劇を披露した。そのなかで、気持ちのよい挨拶や掃除の仕方について全校児童に問いかけ、一緒に考えた。



(3) 異学年交流

坂本小として大切にしたいことの1つである、「なかよく」をテーマに休み時間に異学年交流を行った。1・6年生、2・5年生、3・4年生で、高学年が遊ぶ内容を決め、遊びを通して仲を深めた。4～6年生は、低学年の児童と優しく関わる事ができた。また、1～3年生は、高学年と交流ができて満足感があったようだ。



(4) 東小沢小との統合を見据えた交流会

令和6年度の統合を目指して、東小沢小との交流を計画した。2学期に、東小沢小の児童が来校し、数時間共に授業に取り組んだり、休み時間に遊んだりした。4・5年生は、運動会で伝統となっている「ソーラン節」を披露し、一緒に踊った。

3 成果と課題

坂本パワーアップ集会での日常生活に関する寸劇により、あいさつを進んでしたり、掃除を黙って行ったりする等、意識して取り組むことができた。さらに、異学年交流を行ったことで、学年を超えて休み時間に話したり、遊んだりする児童の姿が多く見られた。今年度はSDG sを意識したへの取り組みが不十分であったため、今後は実践していきたい。